



平成 31 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ ナ リ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 昌 宏
(コード番号：6079 東証マザーズ)
問 合 せ 先 広 報 ・ I R 部 長 白 土 朋 之
(TEL. 03-5284-8326)

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 11 月 6 日に公表いたしました、平成 30 年 12 月期通期（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想と実績値の差異（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	77,900	600	500	150	3 円 10 銭
実績値 (B)	77,417	328	249	33	0 円 69 銭
増減額 (B-A)	△482	△271	△250	△116	
増減率 (%)	△0.6	△45.2	△50.1	△77.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 12 月期)	53,402	1,079	834	925	19 円 16 銭

2. 差異の理由

売上高は、概ね計画通りに推移いたしました。一方、利益面につきましては、第 4 四半期において、日本卸電力取引所の夜間休日の市場単価が当社の想定を超えて上昇したため電力調達コストの大幅な増大となりました。

更に、昨年 8 月に発生した日本卸電力取引所の市場単価高騰や、昨年 9 月に北海道で発生した広域災害の影響により日本卸電力取引所における北海道エリアのスポット市場が停止され、北海道電力エリアの電気の調達方法が限られたことから発生した、インバランス料金*の増加が共に第 4 四半期に発生したこと等により、売上原価が大幅に上昇しました。

これらにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、平成 30 年 11 月 6 日に公表しました連結業績予想を大幅に下回る実績となりました。

※インバランス料金：事業者が 30 分単位で計画に対して不足もしくは余剰電力量を発生させた場合、一般送配電事業者が電気の補給もしくは買取を行うが、その対価として事業者が当該一般送配電事業者を支払うもしくは受け取る料金のこと。

以 上